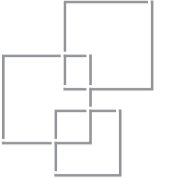


3月定例会では、2月24日に6人の議員が代表総括質疑を、25日から26日にかけて8人の議員が総括質疑を行い、令和3年度の施政や財政方針などに関して活発な議論を展開しました。紙面の都合により、質問した議員に確認の上、1問を選び、質問と答弁の要旨を紹介します。なお、総括質疑の様子は、太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただくことができます。



お詫び

令和3年2月15日号(No.80)3ページ 高橋えみ議員の一般質問要旨『性的少数者への支援について』における「教育長」の答弁は「教育部長」の誤りでした。訂正し、お詫び申し上げます。

代表総括質疑



新型コロナウイルス関連対策と今後の対策について



公明クラブ 星野 一広

議員 コロナ禍における本市の雇用情勢はなかなか回復の兆しが見えません。現状と今後の対策について伺います。
産業環境部長 令和2年5月以降の有効求人倍率は1倍を切り、11月からは若干の上昇に転じましたが、なお厳しい状況です。そうした中、子育て支援就職面接会の開催による女性の雇用の確保、就職氷河期世代の非正規雇用者を対象とした就職支援事業等を実施しており、今後も継続していきたいと考えています。



議員 地域ボランティアと連携したコミュニティソーシャルワーカーを配置し、自ら助けを求められない人を支援すべきと考えますが、所見を伺います。

福祉子ども部長 地域住民の複合化し

た支援ニーズに対応できる包括的な相談支援体制を構築するため、令和3年度に重層的支援体制整備事業への移行準備を実施する予定です。コミュニティソーシャルワーカー等の配置についても、この事業の中で研究していきたいと考えます。
議員 生活困窮者相談支援のさらなる充実について市長の所見を伺います。
市長 私たちは働いてもらえる環境をつくるのが仕事です。これまで自立相談等を行っており、令和2年度は56人が雇用結び付きましたので、この実績をさらに上げる、あるいは範囲を広げる必要があると考えます。また、フードバンク事業も順調に運営できています。こうした対応策を制度として続けたいと思います。

■その他の質問

- ・市政運営方針並びに予算編成について
- ・新型コロナウイルスワクチン接種について
- ・帯状疱疹ワクチン接種について

代表総括質疑



尾島保健センターを事実上廃止することの是非について



日本共産党 水野 正己

議員 尾島保健センターの機能を新田保健センターに移転する場合、太田市保健センター条例から尾島保健センターを削除しなければその機能は廃止できません。委員会では、建物が残るため条例改正は不要との説明がありましたが、地方自治法の規定により、目的を持った公の施設で目的が達成できなくなったときは条例改正が必要です。条例違反および自治法違反ともなりますが、所見を伺います。

健康医療部長 当初、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種会場として尾島保健センターを使用する予定でしたが、不具合があり使用しないこととなりましたので、機能移転に伴い施設を廃止したいと考えます。本定例会に追加議案として条例改正案を提出します。

議員 新型コロナウイルス感染症への対応の必要性や、自動車免許を持っていない利用者があることを考慮しても、簡単に廃止すべきでないと考えますが、市長の

所見を伺います。

市長 尾島保健センターの保健師たちも、西地区の保健機能を一つに統合すべき、人員が多いほうがサービスを徹底できるという意見を持っています。同様に、太田保健センターは旧太田市地域を管轄しており、毛里田地区をはじめ距離が遠い地区もありますが、やはり多くの人員が集まっているほうが事業の実施等において好条件のようです。前向きな施策であるということをご理解いただきたいと思います。



■その他の質問

- ・新型コロナウイルス感染拡大対策について

総括質疑



ごみの利便性のある分別の取り組みについて



創政クラブ 松川 翼

議員 コロナ禍で通信販売等の利用が増え、家庭ごみが増加しています。地域の廃品回収が中止となっているところもあり、その影響が行政センターのリサイクル倉庫にも出ていると思われませんが、その現状と管理について伺います。

市民生活部長 生活様式の変化により段ボールやプラスチック等の利用が増え、倉庫からあふれる状況が頻繁に生じています。倉庫も老朽化し、必要に応じて修理が行われています。



議員 少子高齢化により子どものおむつ使用量は減っていきませんが、今後は大人のおむつ使用量が増え、10年後には1.6倍の量になると予想されています。紙おむつ

への対応の現状と、リサイクルに向けた今後の取り組みを伺います。

産業環境部長 現在、使用済み紙おむつは全て焼却処分しています。今後は紙おむつの製造業者による減量化やリサイクルに向けての取り組みを注視しながら、環境省が策定した「使用済み紙おむつの再生利用等に関するガイドライン」を参考に、調査を進めたいと考えています。

議員 今後のごみ減量の取り組みについて市長の所見を伺います。

市長 ごみの増加は大変な問題で、新焼却炉も数年後に満杯になってしまう可能性があります。分別を徹底するとともに、万が一に備えて企業と連携し、焼却炉を増やすことも必要と考えます。併せて、旧焼却炉の解体跡地にリサイクル倉庫をつくる計画を進めたいと思います。

■その他の質問

- ・行政におけるデジタル化の推進について
- ・就農支援について

総括質疑



防災・減災対策について



公明クラブ 前田 純也

議員 コロナ禍における災害発生時の避難所の開設、運営について伺います。

総務部長 避難所での感染対策として段ボール間仕切りや段ボールベッド等の資機材を配備しています。また、学校避難所については体育館だけでなく教室も避難スペースとして活用し、3密対策と機能の充実を図りました。コロナ禍においても安心して避難できる避難所の整備を今後も継続して行っています。



議員 自主防災組織の強化に向けた取り組みについて伺います。

総務部長 太田市自主防災組織防災事業補助金制度において、令和2年度は防災に関する講習会の参加費や防災士等の

資格取得費用も補助対象としました。今後も自主防災組織が防災の3Kと言われる「気づく・考える・行動する」を実践できるよう全力でサポートしていきます。

議員 避難困難者への災害時の情報発信について、群馬テレビのデータ放送を活用すれば、早く正確に、比較的安価に可能となると考えます。また、自主防災組織の細部にわたる強化も必要と感じますが、併せて市長の所見を伺います。

市長 基本的には自分で自分を守るよう、日常的に災害に備えておくべきです。特にコロナ禍では避難者が1カ所に集中することを避けられるよう、知人宅等の最適な避難先を自分で選択して行動してもらえるとありがたいと思います。

■その他の質問

- ・新型コロナウイルス感染症まん延防止について
- ・環境対策について
- ・持続可能な開発目標への取り組みについて